

# 第63回 岐阜県歯科技工 学術大会



日時

令和元年10月6日(日)

受付・開場/13:00 開会/13:30 閉会/17:00

場所

みのかも文化の森 緑のホール

〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1

会費

会員/1000円 非会員/5000円 学生/無料

【略歴】

2005 浦和学院高等学校 美術科卒業  
2008 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校 卒業  
2014 早稲田トレーニングセンター 32期 卒業  
2019 現在 Dental Labor GmbH Gross 勤務/主任



高瀬 直先生

## 『築盛法に勝負を挑む！

## Vintage Art U N I V E R S A L を用いたステイン法による色調表現』

近年、プレスセラミックス及びジルコニアによる、強度と審美性を両立させたモノリシッククラウンの需要が急速に拡大している。モノリシッククラウンは完成外形にステインを塗布することにより色調表現を行う。その為、しばしばステイン法クラウンとも呼ばれる。

ステイン法クラウンは、築盛法クラウンと比較して立体感及び透明感に乏しい。このことから、ステイン法は築盛法の廉価版であるとした認識も広い。

しかし、「ステイン法では、天然歯らしいリアルな色調表現は不可能である」と早合点してはならない。色彩学を理解し、補色対比や吸収効果・錯視効果を利用すれば、ステイン法でも十分にリアルな色調表現を可能とする。

そこで今回はステイン法クラウンを題材として、シェードテイクから実際のステイニング術式に至るまでを紹介したい。当講演が臨床技工の一助となれば幸いである。